

# スペクトラリス読影塾 Part II

日時 2017年12月1日(金) 12:30~13:30

会場 第3会場 (東京国際フォーラム ホールD5)



座長  
古泉 英貴 先生  
(琉球大学)

ハイデルベルグエンジニアリング社がHRA+OCTを発売し、スペクトラリスというブランドを展開して丁度10年を迎えました。

それまではHRAによるFA/ICGAの分野で永く地位を築いてきましたが、OCTの発売によりさらに進化を遂げました。この間卓越した画像だけではなく、様々な追加機能を披露してきました。

現在はマルチモダリティというコンセプトで、様々な機能を複合させることができるようになっています。マルチカラーは波長の異なる3つのレーザーを使用し、網膜を層別にスキャンすることができます。55度ワイドフィールドOCTは、対物レンズを交換するだけで16.5mm幅のスキャンが可能になります。さらに昨年発売されたOCT angiographyは、「Hybrid Angiography」と銘打った蛍光眼底造影画像と重ね合わせが行える独自の機能を持ちます。

本セミナーでは、まず小沢先生にスペクトラリスOCTを用いた硝子体から脈絡膜までの評価を、鳥山先生にはOCT angiographyについてスペクトラリス独自の特徴を、寺崎先生にはマルチカラー、FA/ICGA、OCT angiographyなど複数のモジュールによるマルチモダル画像評価についてお話して頂く予定です。皆様のご参加をお待ちしております。



**Spectralisで  
硝子体から脈絡膜までを診る**

演者  
小沢 洋子 先生 (慶應大学)



**スペクトラリスOCT  
アンジオグラフィの特徴と活用**

演者  
鳥山 佑一 先生 (信州大学)



**Multimodalityを活かす**

演者  
寺崎 寛人 先生 (鹿児島大学)

